

受検した検査の種類

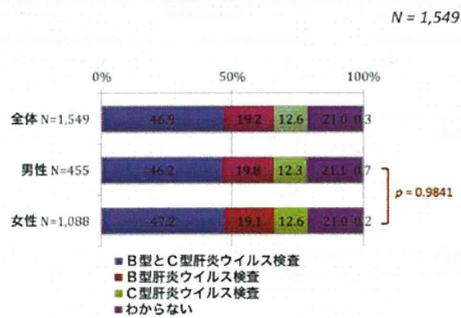


図 15. 受検した肝炎ウイルス検査の種類-2015年度調査結果-

年齢階級別にみた受検した検査の種類

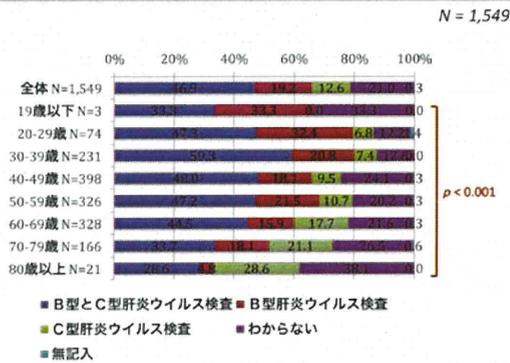


図 16. 年齢階級別にみた受検した肝炎ウイルス検査の種類-2015年度調査結果-

d)受検検査結果把握状況 (図 17)

自己申告肝炎ウイルス検査受検者のうち、検査結果を把握している割合は 2013 年度は 96.4% (1,347 人/1,398 人)、2015 年度は 95.4% (1,477 人/1,549 人) であり、性差はなく、高齢者はやや低い傾向であった。

e)検査陽性者の医療機関受診状況 (図 18)

検査結果が陽性であったと回答した肝炎ウイルス検査受検者のうち、医療機関を受診したことがある人の割合は 2013 年度 79 人中 71 人 (89.9%)、2015 年度 99 人中 87 人 (87.9%) であり、2013 年度と 2015 年度の医療機関受診率に有意差を認めなかった (p=0.6755)。

「受診し、治癒した」または「現在、治療中である」人の割合は 2013 年度では 68.4%、2015 年度では 74.8%と増加したが、統計学的有意差は認めなかった (p=0.3457)。

医療機関を受診していない理由として、2013 年度は 8 人中 2 人は「機会がなかった」、1 人は「受診する必要がある」1 人は「どこへ受診してよいかわからない」と回答した。2015 年度では、12 人中 8 人が「受診する必要がある」と回答し、1 人が「どこに受診してよいかわからない」と回答した。(図 18)



図 17. 肝炎ウイルス検査結果把握状況

## 肝炎ウイルス検査陽性者の医療機関受診状況

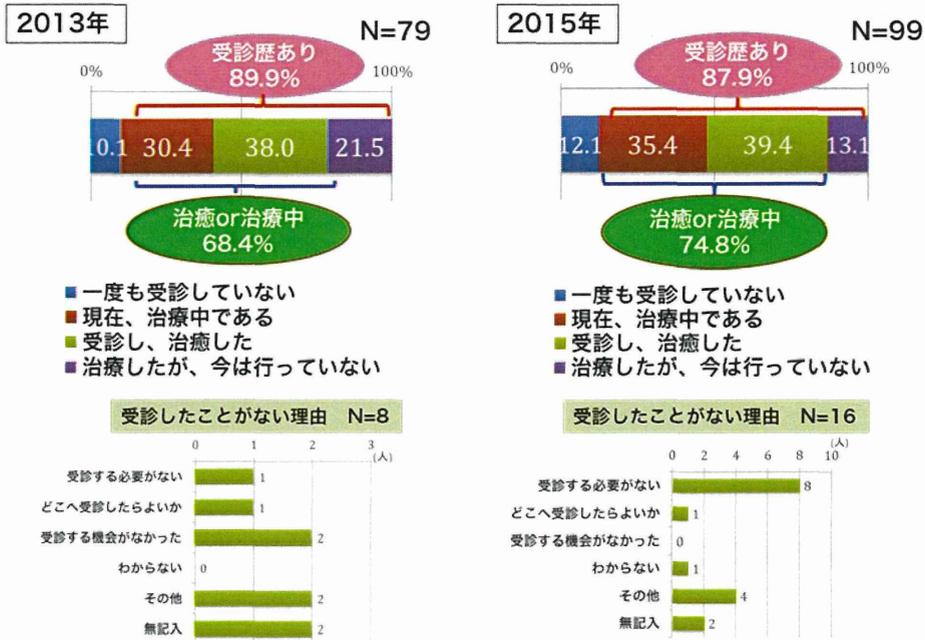


図 18. 肝炎ウイルス検査陽性者の医療機関受診状況-2013 年度、2015 年度の比較-

### (3) 肝炎ウイルス検査未受検者に対する調査結果

#### a) 未受検理由

「肝炎ウイルス検査を受けたことがない理由」としては、2013 年度、2015 年度ともに「機会がなかった」という回答が最も多く（2013 年度:40.2%、2015 年度:36.9%）、次いで「検査のことを知らなかった」（2013 年度:28.5%、2015 年度:31.8%）、「受ける必要がない」（2013 年度:26.3%、2015 年度:25.8%）となった（図 19）。性差はなく、「機会がなかった」と回答した人は年代による差を認めなかったが、「検査のことを知らなかった」と回答した人は若い世代で、「受ける必要がない」と回答した人は高齢者で多かった（図 20）。

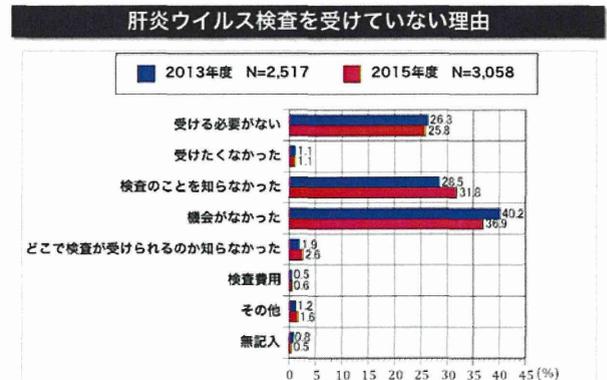


図 19. 肝炎ウイルス検査を受けていない理由 -2013 年度、2015 年度の比較-

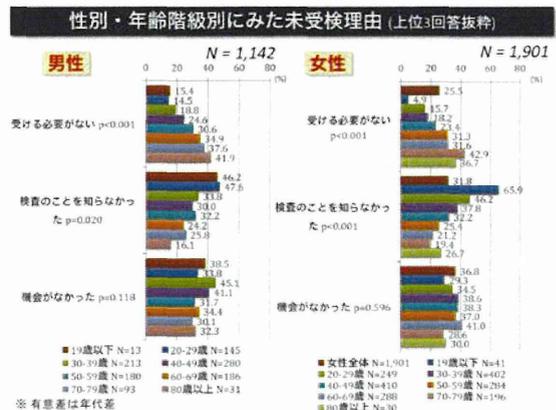


図 20. 性別・年齢階級別にみた未受検理由 -2015 年度調査結果-

b) 今後の肝炎ウイルス検査受検希望

「肝炎検査を受けてみたいか」について、「受けたい（どちらかというとう受けたい）」と回答した割合は 2008 年度の調査では 74.0%であったが、2013 年度では 58.5%、2015 年度では 54.5%と減少していた (p<0.0001)。(図 21)

2015 年度の調査結果を性別・年齢階級別にみると、男性では 40-50 歳代、女性では 30 歳代で最も受検を希望する割合が高かった。(図 22)

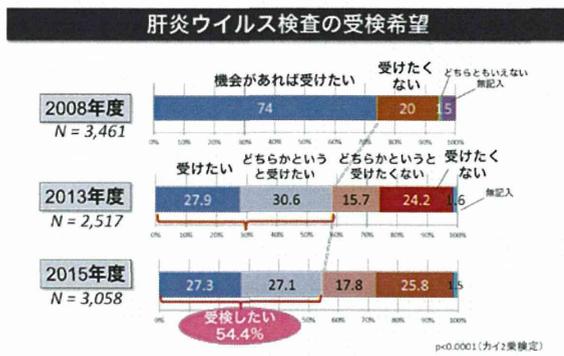


図 21. 肝炎ウイルス検査受検希望 -2008 年度、2013 年度、2015 年度の比較-

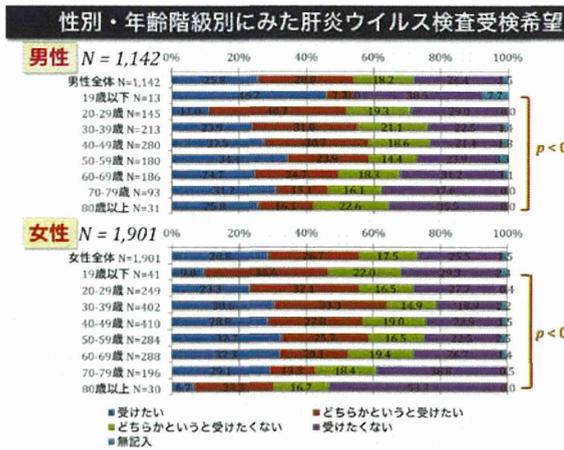


図 22. 性別・年齢階級別にみた肝炎ウイルス検査受検希望-2015 年度調査結果-

c) 受けたことのある受検勧奨 (表 1)

未受検者のうち、これまでに検査を勧められたことがない人は 2013 年度 92.6% (2,332 人/2,517 人中)、2015 年度 94.1% (2,879 人/3,058 人中) であった。

受検を勧められた人の中では、「家族・知

人等から勧められた」人が最も多く (2013 年度: 1.2%、2015 年度: 1.1%)、次いで「医師から勧められた」(2013 年度: 0.8%、2015 年度: 0.5%) であった。

「肝炎ウイルス検査」に関する情報や広告・CM を見たことがあると回答した未受検者は、2013 年度は 43.7%、2015 年度は 32.5% であった。最も印象に残っていたのは「きみまるさんのテレビ CM」(2013 年度: 22.4%、2015 年度: 8.9%)、次いで「ポスター (衣笠さん、かんちゃん)」(2013 年度: 5.8%、2015 年度: 4.4%)、「県民だより市民だより」(2013 年度: 2.0%、2015 年度: 3.5%) であった。(表 2)

表 1. 未受検者がこれまでに受けた肝炎ウイルス検査受検勧奨-2013 年度、2015 年度の比較-

|                      |               | (未受検者 N=2,517) |                   | (未受検者 N=3,058) |                   |     |
|----------------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|-------------------|-----|
|                      |               | 2013年度         | 2015年度            | 2013年度         | 2015年度            |     |
|                      |               | 回答数            | N=2,517に占める割合 (%) | 回答数            | N=3,058に占める割合 (%) |     |
| 肝炎ウイルス検査を勧められたことはない  |               | 2,332          | 92.6              | 2,879          | 94.1              |     |
| 肝炎ウイルス検査を勧められたかもしれない | 手術時           | 0              | 0.0               | 2              | 0.0               |     |
|                      | 献血時           | 3              | 0.1               | 0              | 0.0               |     |
|                      | 出産時           | 7              | 0.3               | 2              | 0.1               |     |
|                      | その他           | 5              | 0.2               | 13             | 0.4               |     |
|                      | 未回答           | 6              | 0.2               | 7              | 0.2               |     |
|                      | 合計            | 21             | 0.8               | 23             | 0.8               |     |
| 肝炎ウイルス検査を勧められたことがある  | 家族・知人等から      | 31             | 1.2               | 32             | 1.1               |     |
|                      | 医師から          | 20             | 0.8               | 14             | 0.5               |     |
|                      | 看護師から         | 1              | 0.0               | 1              | 0.0               |     |
|                      | 保健師から         | 4              | 0.2               | 3              | 0.1               |     |
|                      | 薬剤師から         | 1              | 0.0               | 0              | 0.0               |     |
|                      | 肝疾患コーディネーターから | 0              | 0.0               | 1              | 0.0               |     |
|                      | 不明・未回答        | 40             | 1.6               | 27             | 0.9               |     |
|                      | 合計            | 97             | 3.9               | 79             | 2.6               |     |
|                      | 未回答           |                | 67                | 2.7            | 78                | 2.6 |

表 2. 未受検者の印象に残っている肝炎ウイルス検査受検勧奨情報-2013 年度、2015 年度の比較-

|                   |  | (未受検者 N=2,517) |                   | (未受検者 N=3,058) |                   |
|-------------------|--|----------------|-------------------|----------------|-------------------|
|                   |  | 回答数            | N=2,517に占める割合 (%) | 回答数            | N=3,058に占める割合 (%) |
| 県民だより市民だより        |  | 51             | 2.0               | 108            | 3.5               |
| 案内状やダイレクトメール      |  | 9              | 0.4               | 5              | 0.2               |
| ポスター (衣笠さん、かんちゃん) |  | 146            | 5.8               | 135            | 4.4               |
| かんちゃんのチラシ         |  | 44             | 1.7               | 17             | 0.6               |
| きみまるさんのチラシ        |  | 104            | 4.1               | 111            | 3.6               |
| 新聞記事              |  | 20             | 0.8               | 41             | 1.3               |
| きみまるさんのテレビCM      |  | 565            | 22.4              | 273            | 8.9               |
| オール巨人さんのテレビCM     |  | 76             | 3.0               | 43             | 1.4               |
| 広島ホームテレビの報道特撮     |  | 13             | 0.5               | 51             | 1.7               |
| ラジオのCM            |  | 8              | 0.3               | 58             | 1.9               |
| 中国新聞の一面広告         |  | 10             | 0.4               | 37             | 1.2               |
| 市民公開講座            |  | 2              | 0.1               | 0              | 0.0               |
| インターネット・ウェブサイト    |  | 3              | 0.1               | 20             | 0.6               |
| その他: その他TVラジオ広告   |  | 22             | 0.9               | 136            | 4.4               |
| その他: 他            |  | 28             | 1.1               | 59             | 1.9               |
| 合計                |  | 1,101          | 43.7              | 1,092          | 35.7              |
| 見たことはない           |  | 1,277          | 50.7              | 1,943          | 63.5              |
| 無記入               |  | 139            | 5.5               | 23             | 0.8               |

(4) 行政施策等の認知度

a) 肝炎ウイルス検査が無料でできることの認知度 (図 23)

未受検者の「肝炎ウイルス検査が無料でできること」に関する認知度は、2013 年度は

8.0%、2015年度では、8.8%であった(p=0.2979)。男女ともに若い世代での認知度が低かった。

b) 肝炎ウイルスを体内から排除できる治療があることの認知度

「肝炎ウイルスを体内から排除できる治療がある」ことの認知度は、未受検者においては2013年度(2,517人中552人、21.9%)よりも2015年度(3,058人中361人、11.8%)は低かった(p<0.0001)。2013年度では女性と高齢者の認知度が高かった。2015年度では性差はなかったが、女性の年代別認知率に差があった。(図24)

受検者における認知度も2013年度(1,398人中799人、57.2%)よりも2015年度(1,549人中700人、45.2%)は低かった(p<0.0001)。2013年度、2015年度ともに、認知度に性差・年齢差はなかった。

c) B型(C型)肝炎の治療費の公的助成制度の認知度

「B型(C型)肝炎治療費の公的助成制度」の認知度は、未受検者においては2013年度(2,517人中329人、13.1%)よりも2015年度(3,058人中791人、25.9%)は高くなった(p<0.0001)。2013年度は性差、年齢差ともになかった。2015年度では性差はなかったが、男女ともに50-70歳代で認知率が高かった。(図26)

受検者においても、2013年度(1,398人中462人、33.0%)よりも2015年度(1,549人中798人、51.5%)では公的助成制度の認知度は高くなった(p<0.0001)。2013年度は、性差はなく、男性の年代別認知率に差があった。2015年度は、受検者では性差・年齢差

はなかった。(図27)

d) 肝炎訴訟の認知度

2015年度の調査では、「肝炎訴訟」を知っている人は、未受検者3,058人中1,790人(58.5%)、受検者1,549人中1,189人(77.1%)であり、受検者は未受検者よりも肝炎訴訟認知度が有意に高かった(p<0.0001)。未受検者では女性、40-50歳代における認知度が高く、受検者では性差は認めなかったが女性の年代別認知率に差を認めた。

訴訟を行った人は全体4,609人中5人(0.11%)であった。

また、肝炎ウイルス検査受検者1,549人のうち、結果が陽性であった99人と陰性であった1,450人では、肝炎訴訟の認知度に有意差を認めなかった(検査陰性者; 77.0%、検査陽性者; 72.2%) (p=0.3262)。

e) 肝機能障害に対する身体障害者認定制度に関する認知度

2015年度の調査において、「肝機能障害に対する身体障害者認定制度」を知っている人は、未受検者3,058人中605人(19.8%)、受検者1,549人中477人(30.8%)であり、受検者は未受検者よりも認知度が有意に高かった(p<0.0001)。

肝機能障害に対する身体障害者認定を受けた人は全体4,609人中1人(0.02%)であった。

また、肝炎ウイルス検査受検者1,549人のうち、結果が陽性であった人99人と陰性であった1,450人では、認知度に有意差を認めなかった(検査陰性者; 30.7%、検査陽性者; 32.3%) (p=0.7344)。

## 未受検者における「肝炎ウイルス検査が無料」認知度

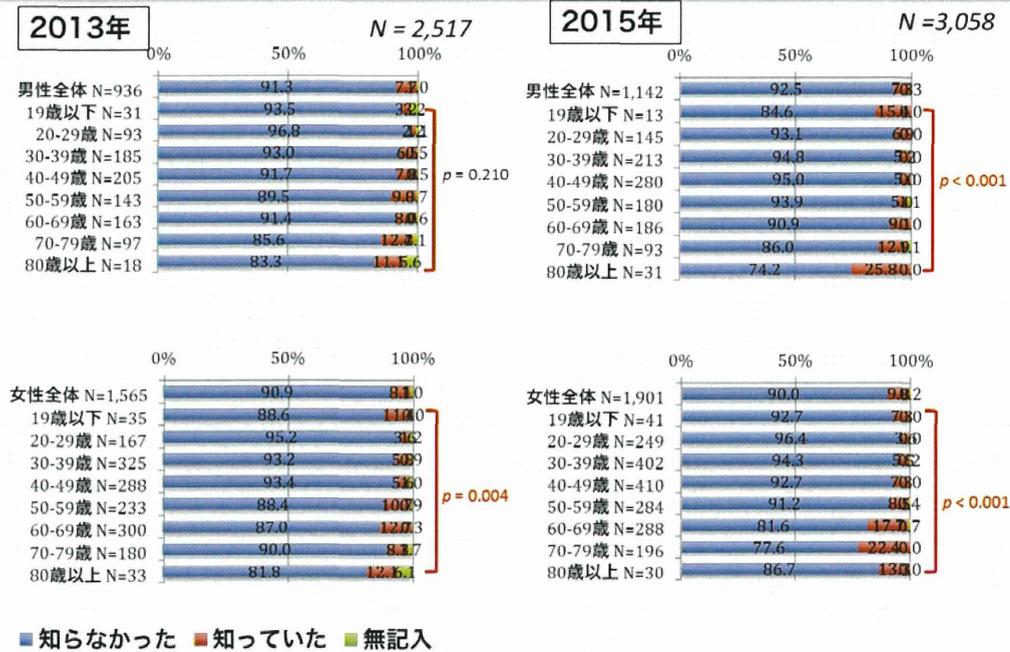


図 23. 性別・年齢階級別にみた未受検者の「肝炎ウイルス検査無料」認知度-2013年度、2015年度の比較-

## 未受検者における「肝炎治療」認知度

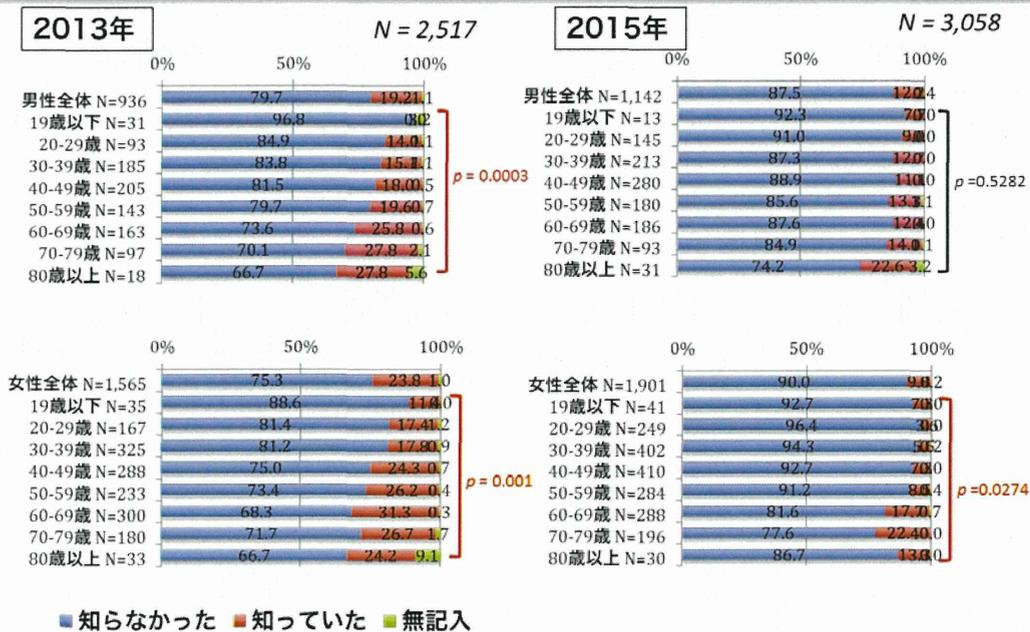


図 24. 性別・年齢階級別にみた「肝炎治療」認知度 (未受検者) -2013年度、2015年度の比較-

## 受検者における「肝炎治療」認知度

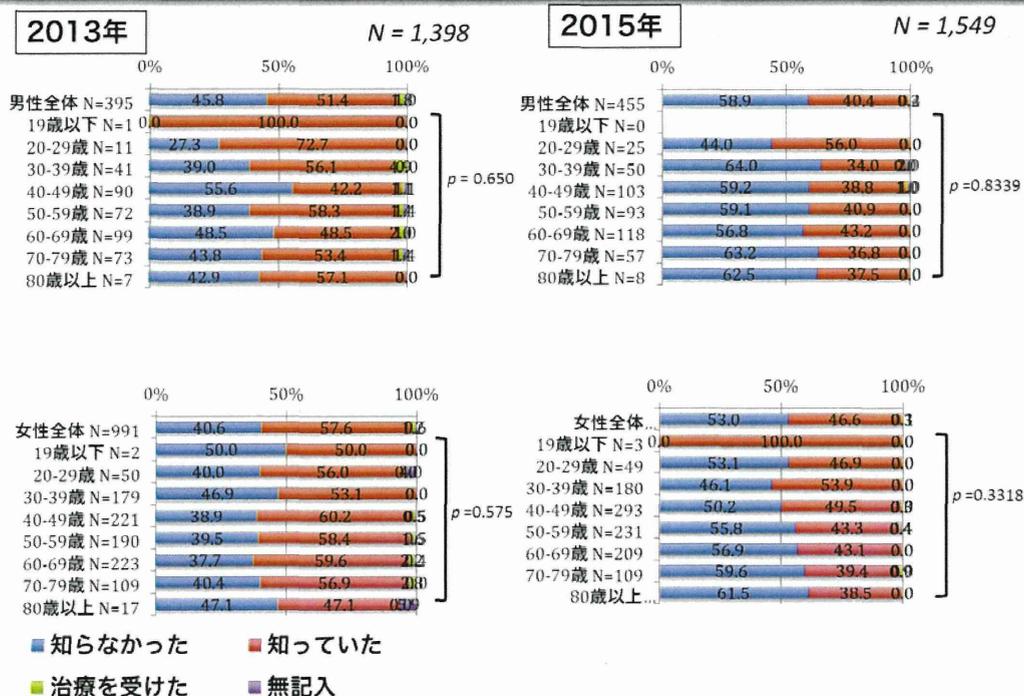


図 25. 性別、年齢階級別みた「肝炎治療」認知度（受検者）-2013年度、2015年度の比較-

## 未受検者における「肝炎治療公費助成制度」認知度

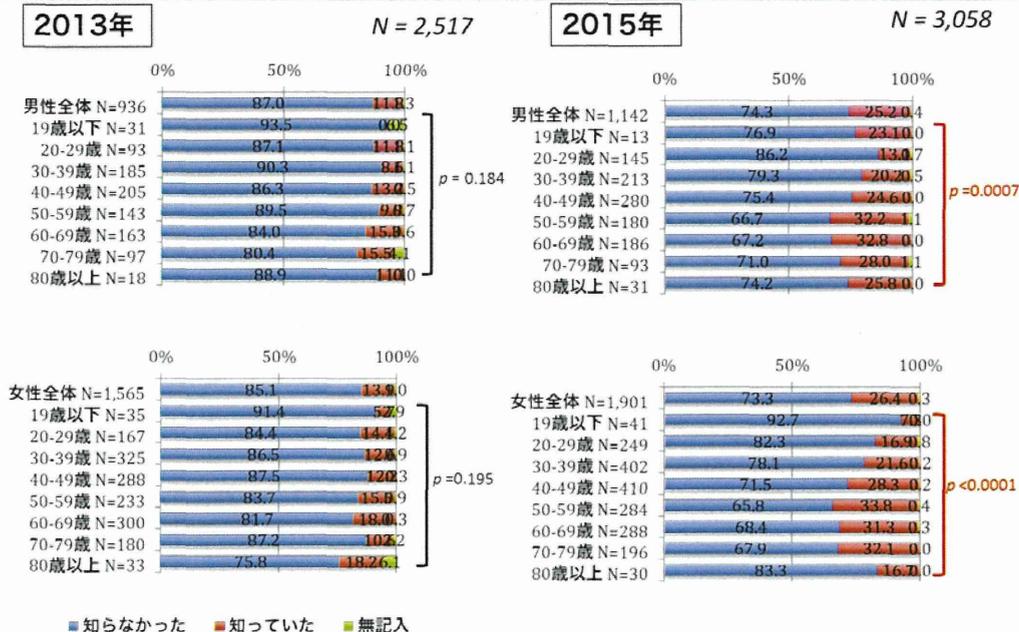


図 26. 性別、年齢階級別みた「治療助成」認知度（未受検者）-2013年度、2015年度の比較-

# 受検者における「肝炎治療公費助成制度」認知度

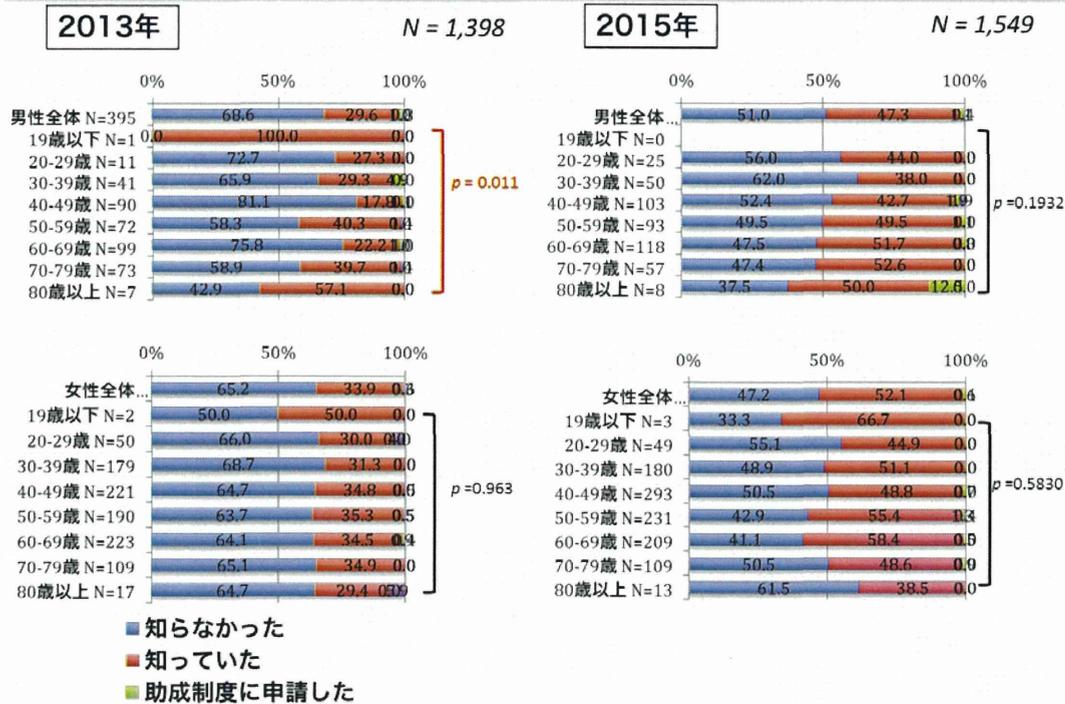


図 27. 性別、年齢階級別にみた「治療助成」認知度（受検者）-2013年度、2015年度の比較-

# 「肝炎訴訟」認知度

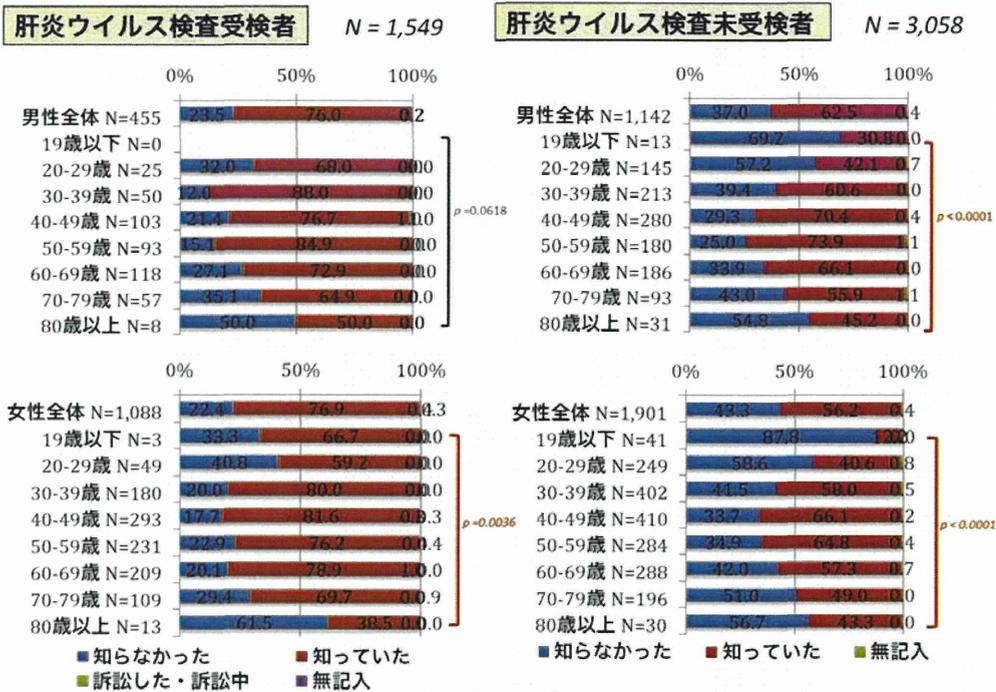


図 28. 性別、年齢階級別にみた「肝炎訴訟」認知度（受検者、未受検者）-2015年度の調査結果-

# 「肝機能障害に対する身体障害者認定制度」認知度

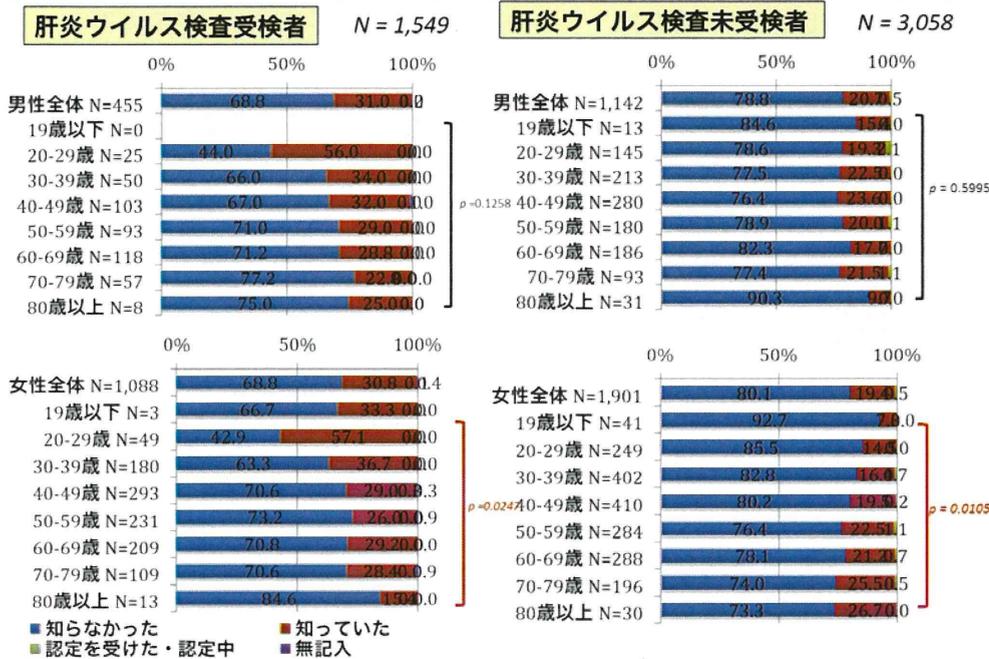


図 29. 性別、年齢階級別にみた「肝機能障害に対する身体障害者認定制度」認知度（受検者、未受検者）  
-2015 年度の調査結果-

## 2) 【全国】肝炎ウイルス検査普及状況等に関する Web 調査結果（調査 2）

### 1. 集計対象者

集計対象者は、(株) インテージ登録時情報および今回の調査回答結果を併せて我々が HBV 感染者と定義した 221 人(男 167 人、女 54 人、range37-74 歳)、HCV 感染者と定義した 236 人(男 162 人、女 74 人、range40-81 歳)、一般集団と定義した 336 人(男 186 人、女 150 人、range20-82 歳)であった。調査結果から、HBV と HCV の重複感染者 7 人については、HBV 感染者・HCV 感染者それぞれの集計に加えた。

集計対象者の年齢別人数の分布を表 3、図 30 に、居住都道府県の分布を図 31 に示す。

表 3. 3 集団別にみた年齢別人数

|           | N = 221     |        | N = 236     |        | N = 336     |        |
|-----------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
|           | 回答数         | 割合     | 回答数         | 割合     | 回答数         | 割合     |
| 20歳代      | 1           | 0.5%   | 0           | 0.0%   | 55          | 16.4%  |
| 30歳代      | 12          | 5.4%   | 8           | 3.4%   | 57          | 17.0%  |
| 40歳代      | 65          | 29.4%  | 30          | 12.7%  | 61          | 18.2%  |
| 50歳代      | 74          | 33.5%  | 82          | 34.7%  | 71          | 21.1%  |
| 60歳代      | 53          | 24.0%  | 77          | 32.6%  | 71          | 21.1%  |
| 70歳代      | 16          | 7.2%   | 34          | 14.4%  | 20          | 6.0%   |
| 80歳代      | 0           | 0.0%   | 5           | 2.1%   | 1           | 0.3%   |
| 合計        | 221         | 100.0% | 236         | 100.0% | 336         | 100.0% |
| 平均年齢 ± SD | 54.3 ± 10.2 |        | 59.5 ± 10.4 |        | 48.0 ± 15.2 |        |

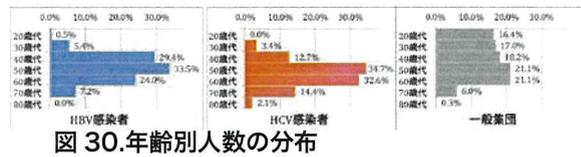


図 30. 年齢別人数の分布



図 31. 居住地都道府県の分布（ブロック）

## 2. アンケート調査結果

### (1) 肝炎ウイルス検査受検率

一般集団 336 人における肝炎ウイルス受検率は 26.5% (95% C.I.: 22-31%) であった。

検査を受けたことがない理由は、「検査を勧められたことがなかった」が最も多く (40.7%)、次いで「自分は肝炎ウイルスに感染していないと思っているから」(37.9%)、「肝炎ウイルス検査の必要性を感じなかったから」(22.6%) であった。

「今後検査を受けてみたいか」という質問に対しては、未受検者 243 人中「ぜひ受けたい」4.1%、「機会があれば受けてみたい」21.0%、「無料であるなら受けてもよい」

30.0%、「受ける必要はないと思う」28.8%、「受けたくない」13.2%であった。(図 32) 受検した場所は、一般集団、HBV 感染者、HCV 感染者ともに「医療機関における保険診療」が最も多かった(一般集団:46.1%、HBV 感染者:62.6%、HCV 感染者:64.9%)。(表 4)

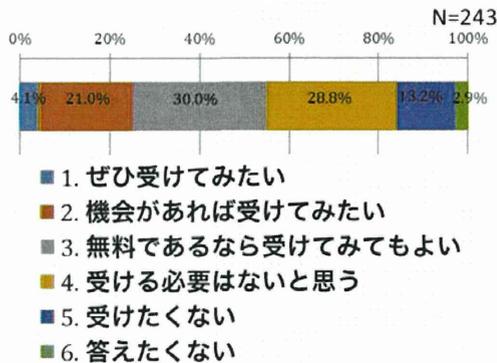


図 32. 肝炎ウイルス検査受検希望

表 4. 肝炎ウイルス検査を受けた場所

|                 | N = 195 |             | N = 225 |             | N = 89 |            |
|-----------------|---------|-------------|---------|-------------|--------|------------|
|                 | 回答数     | N=195に占める割合 | 回答数     | N=225に占める割合 | 回答数    | N=89に占める割合 |
| 1. 職場健診や人間ドック   | 52      | 26.7%       | 39      | 17.3%       | 28     | 31.5%      |
| 2. 市町村の肝炎ウイルス健診 | 9       | 4.6%        | 12      | 5.3%        | 17     | 19.1%      |
| 3. 保健所          | 2       | 1.0%        | 5       | 2.2%        | 2      | 2.2%       |
| 4. 医療機関における保険診療 | 122     | 62.6%       | 146     | 64.9%       | 41     | 46.1%      |
| 5. 妊婦検診時        | 14      | 7.2%        | 4       | 1.8%        | 2      | 2.2%       |
| 6. 手術前検査時       | 9       | 4.6%        | 12      | 5.3%        | 1      | 1.1%       |
| 7. 献血           | 26      | 13.3%       | 12      | 5.3%        | 4      | 4.5%       |
| 8. その他          | 4       | 2.1%        | 12      | 5.3%        | 1      | 1.1%       |

### (2) 医療機関受療状況

医療機関を受診歴がある HBV 感染者は 77.8%、HCV 感染者は 83.9%であった。HCV 感染者ではその割合が高い傾向があったが、統計学的には有意差は認められなかった (p=0.0829) (表 5)

表 5. 肝疾患の状況と受療状況

|                   | N = 221 |        | N = 236 |        |
|-------------------|---------|--------|---------|--------|
|                   | 回答数     | 割合     | 回答数     | 割合     |
| 1. 感染したことがない      | 0       | 0.0%   | 0       | 0.0%   |
| 2. 無症候性キャリア(未受診)  | 33      | 14.9%  | 19      | 8.1%   |
| 3. 無症候性キャリア(受診)   | 64      | 29.0%  | 56      | 23.7%  |
| 4. 慢性肝炎(未受診)      | 7       | 3.2%   | 9       | 3.8%   |
| 5. 慢性肝炎(受診)       | 67      | 30.3%  | 61      | 25.8%  |
| 6. 肝硬変(未受診)       | 0       | 0.0%   | 1       | 0.4%   |
| 7. 肝硬変(受診)        | 10      | 4.5%   | 11      | 4.7%   |
| 8. 肝癌(未受診)        | 0       | 0.0%   | 0       | 0.0%   |
| 9. 肝癌(受診)         | 12      | 5.4%   | 13      | 5.5%   |
| 10. 過去感染(自然治癒)    | 8       | 3.6%   | 4       | 1.7%   |
| 11. 過去感染(治療を受け治癒) | 11      | 5.0%   | 53      | 22.5%  |
| 12. 答えたくない        | 9       | 4.1%   | 9       | 3.8%   |
| 合計                | 221     | 100.0% | 236     | 100.0% |

### (3) 肝炎訴訟の認知度 (表 6)

「肝炎訴訟」を知っていたのは HBV 感染者 43.4%、HCV 感染者 32.2%、一般集団

16.1%であった。肝炎訴訟の認知度に 3 群間で相違が認められ (p<0.001、chi-square test)、一般集団と比較して HBV 感染者あるいは HCV 感染者の認知度が高く (いずれも p<0.001、post hoc chi-square)、また、HBV 感染者は HCV 感染者と比べ認知度がより高い傾向 (p=0.0470、post hoc chi-square) であった。

肝炎訴訟を「知っていた」または「詳しくは知らないが聞いたことはあった」のは HBV 感染者 90.5%、HCV 感染者 86.9%、一般集団 64.0%であった。

表 6. 肝炎訴訟の認知度について

|                       | N = 221 |        | N = 236 |        | N = 336 |        |
|-----------------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|                       | 回答数     | 割合     | 回答数     | 割合     | 回答数     | 割合     |
| 1. 知らなかった             | 21      | 9.5%   | 31      | 13.1%  | 121     | 36.0%  |
| 2. 詳しくは知らないが聞いたことはあった | 104     | 47.1%  | 129     | 54.7%  | 161     | 47.9%  |
| 3. 知っていた              | 96      | 43.4%  | 76      | 32.2%  | 54      | 16.1%  |
| 合計                    | 221     | 100.0% | 236     | 100.0% | 336     | 100.0% |

### (4) 肝機能障害による身体障害者認定制度の認知度 (表 7)

「肝機能障害に対する身体障害者認定制度に関する認知度」を知っているか、では、3 集団で 15-20%の認知度であり、相違は認められなかった (p=0.3077、chi-square test)。

表 7. 肝機能障害による身体障害者認定制度の認知度

|           | N = 221 |        | N = 236 |        | N = 336 |        |
|-----------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|           | 回答数     | 割合     | 回答数     | 割合     | 回答数     | 割合     |
| 1. 知っていた  | 44      | 19.9%  | 36      | 15.3%  | 52      | 15.5%  |
| 2. 知らなかった | 174     | 78.7%  | 196     | 83.1%  | 279     | 83.0%  |
| 3. 答えたくない | 3       | 1.4%   | 4       | 1.7%   | 5       | 1.5%   |
| 合計        | 221     | 100.0% | 236     | 100.0% | 336     | 100.0% |

## D. 考察

1) 2008 年度の広島県における「自己申告受検率」は 27.0% (95% C.I.: 26-28%) であり、2011 年度全国調査における受検率 17.6% よりも高値であった。2013 年度に広島県において集中的に肝炎ウイルス検査受検啓発活動を行った直後の調査では、受検率は 35.5% (95% C.I.: 34-37%) に上昇した。2015 年度調査でも受検率は、33.6% (95% C.I.: 32-35%) であり、2015 年度全国 Web 調査における受検率 26.5% (95% C.I.: 22-31%) より高い水準であった。

「受検する最も強いきっかけとなった情報」として、広島県で行った受検啓発活動(テレビ CM、ポスター、新聞広告、県民だよりなど)を挙げた人は 2013 年度 18.9%、2015

年度 16.7%であった。また、受検者の 40.6%が、広島県において肝炎ウイルス検査受検啓発活動が行われた 2013 年以降に受検していた。以上より、広島県における受検啓発活動には一定の効果が認められたと考えられる。

メディア等を利用した住民に対する広報活動の有効性が示された一方、受検のきっかけとしては、「医師からの勧め」が 2013 年度では 28.1%、2015 年度では 27.1%と最も多かったことから、医師に対する啓発活動や医師が簡単に用いることができる（肝炎ウイルス検査パンフレット等）ツールの開発、普及が求められる。

2) 検査を受けていない人のうち 3 割程度が「検査のことを知らなかった」、4 割程度が「検査の機会がなかった」と回答しており、9 割以上の人が「これまでに誰からも肝炎ウイルス検査を勧められたことはない」と回答した。

肝炎ウイルス検査受検に関する情報を見たことがある人は 2013 年度では 43.7%、2015 年度では 35.7%であったが、いずれも受検行動には結びつかなかった。

今後受検したいと思う人の割合は 2008 年度では 74.0%であったが、2013 年度では 58.5%、2015 年度では 54.5%と有意に減少した。2015 年度全国 Web 調査における未受検者受検希望も 55.1%と同程度であった。

肝炎ウイルス検査を受けていない群は「無料肝炎ウイルス検査」認知度が低く（2013 年度:8.0%、2015 年度:8.8%）、「肝炎ウイルスを体内から排除できる治療があること」「公費による治療費助成制度」の認知度が受検者群よりも低かった。

広島県は全国よりも受検率が高く、受検啓発活動を積極的に行ってきた成果も認められるが、未受検者の中での受検希望者は減少していることから、今後ともより多くの県民への広報活動を継続するとともに、無関心層に対しても正しい知識を普及できるよう効果的な広報について工夫していく必要がある。

## E. 結論

広島県において、肝炎ウイルス検査普及状況等を把握するために大規模聞き取り調査を 2008 年度・2013 年度・2015 年度に同じ条件（対象者、時期、方法）で実施した結果、広島県では受検率が全国よりも高く、2013

年度の調査に先立って行ったさまざまな受検啓発活動が広島県における受検率をさらに向上させたことが明らかとなった。

## F. 健康危険情報

特記すべきことなし

## G. 研究発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし